

来月の消費予報

**3月としては過去最低値を記録。
増税以降、年度の節目でも消費意欲が伸びなくなった3月**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表いたします。

3月の消費意欲指数は45.9点。前月比は+2.6ポイントですが、前年同期比は-0.4ポイントとなっています。2014年4月からの消費税増税や物価上昇などの影響が根強く残っていた前年をさらに下回り、3月としては調査開始(2012年5月)以来、最低値となっています。

3月の消費意欲指数



↑ 前月比 **2.6** ポイント

↓ 前年同月比 **-0.4** ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(3月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意向



* UP : 前月比で3ポイント以上の上昇 * DOWN : 前月比で3ポイント以上の下降

「来月(3月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。※詳細は4ページ

3月のポイント

Point 1 : 年度の節目・季節の変わり目でも、消費意欲が伸びなくなった3月

例年3月は、年度の節目・季節の変わり目を理由に、春物衣料の購入や新生活の準備などで消費意欲が高まりやすい月でした。しかし、2014年4月の増税以降、3月になっても消費意欲が伸びづらくなった構造の変化が見られます。

3月の消費意欲指数を時系列で比較すると、【増税前】は50点を超えて前月比も+5ポイント以上伸びていましたが、【増税後】は40点台中盤で前月比も+2ポイント程度と低調になっているのがわかります。

- 【増税前】
 - ・2013年3月 50.3点 (前月比+5.1ポイント)
 - ・2014年3月 53.8点 (前月比+5.2ポイント)
- 【増税後】
 - ・2015年3月 46.3点 (前月比+2.0ポイント)
 - ・2016年3月 45.9点 (前月比+2.6ポイント)

Point 2 : 3月は「不可避な出費が多いので節約する」時期へと変化

消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「子どもの学費が必要」、「4.5月に税金の支払いがある」など、3月は不可避な出費が多いので節約する人が増えています(15年149件→16年165件)。一方、「春物衣料を買う」など季節的な消費を考えている人は減少(15年61件→16年32件)。年度の節目だからこそ発生する出費を考慮し、3月は節約する時期と捉えている生活者の意識が伺えます。

Point 3 : 「経済的理由で出費を抑える」という声も前月より増加

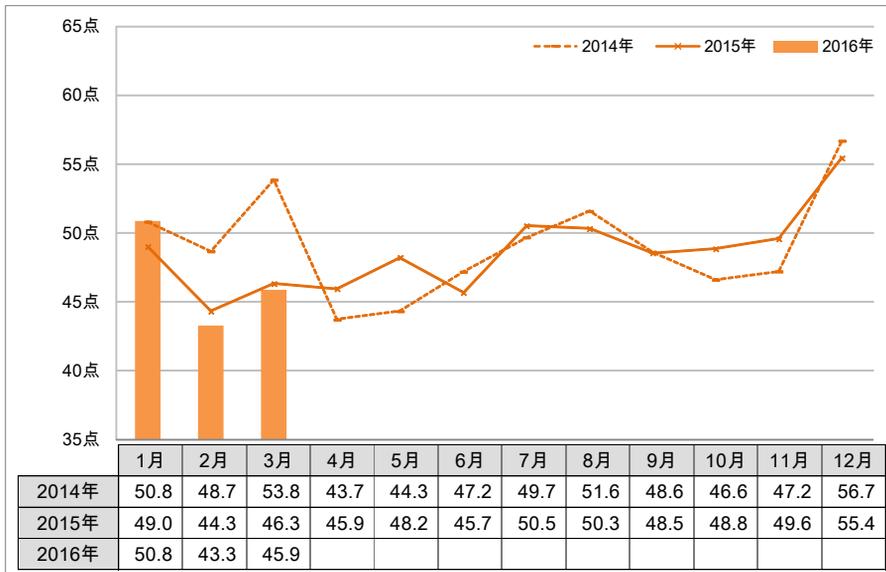
また、「家計が厳しい」や「今後の収入が不安」など経済的理由を挙げる人も前月から大幅に増加(16年2月193件→16年3月271件)。新年早々、中国株や金融株の暴落など、経済に暗い影を落とす報道が相次いだことも起因していると考えられ、4月以降の消費意欲への影響も懸念されます。

消費意欲指数

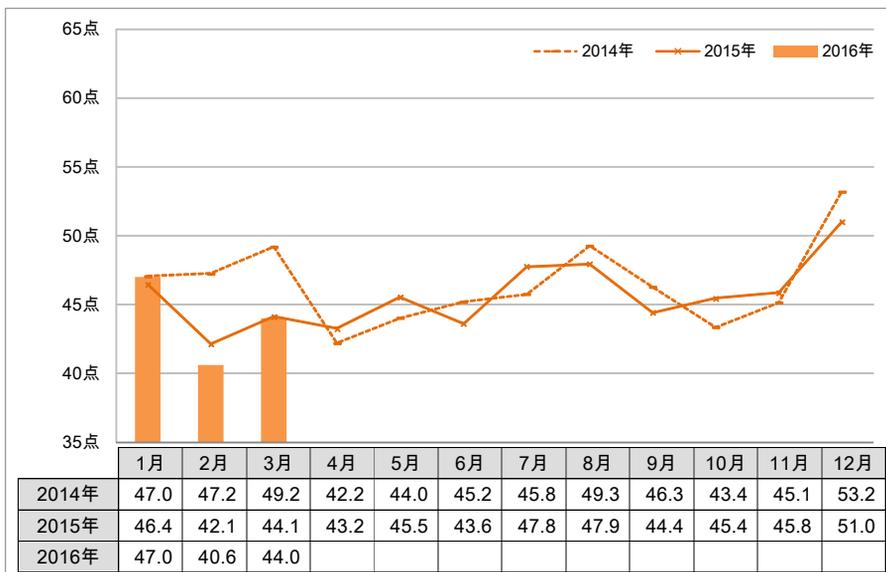
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(3月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

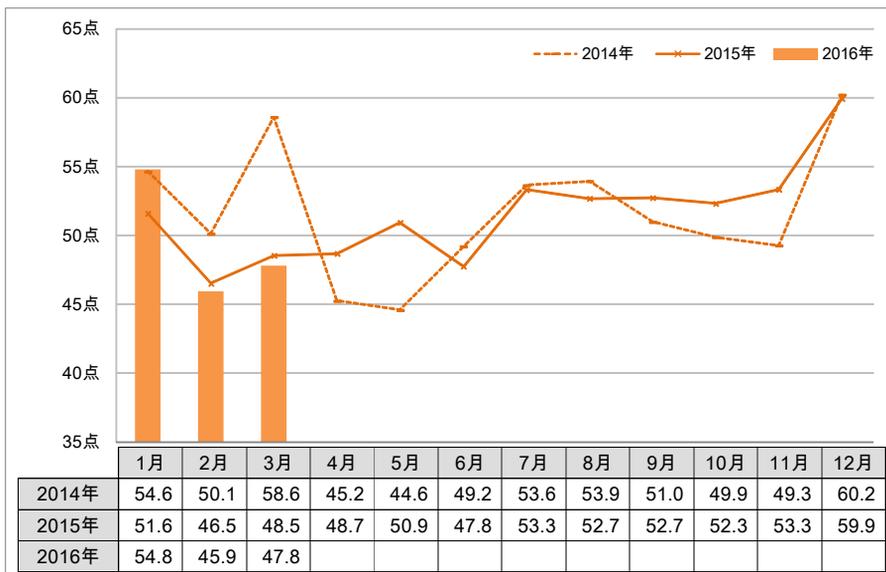
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

生活者の声

- ・先月、大きな出費をしてしまったため (10点・男性26歳・東京都)
- ・大きな出費予定があるため (20点・男性36歳・愛知県)
- ・子どもの学費が必要なので、無駄遣いできない (30点・男性49歳・大阪府)
- ・車の車検があり、出費を控える必要がある (30点・男性50歳・岐阜県)
- ・自動車保険の支払など、何かと物入りな月であるから (30点・男性69歳・奈良県)
- ・今月お金を使いすぎてしまったため、3月は抑えようと考えています (30点・女性28歳・千葉県)
- ・1月のバーゲンで出費がかさんだのと、4、5月に税金の支払いがあるため (30点・女性31歳・愛知県)
- ・3月は自動車の車検代や保険代の支払いや息子の独立に費用がかかり、4月は税金の支払いなどが控えているのでモノを買いたいという欲求は全くないと言っていいほどありません (5点・女性48歳・岐阜県)
- ・入り用が多いので欲しいと思う物はできるだけ押さえる (20点・女性59歳・兵庫県)
- ・今年に入ってから出産祝い・入学祝など出費がかさんだため (30点・女性65歳・千葉県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(3月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2016年3月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	25.3	+2.4	-2.7
男性	23.9	+4.1	-2.2
女性	26.6	+0.7	-3.3

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(379人)

【男性】(181人)

【女性】(198人)

順位	カテゴリー	3月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	51.5	+1.1
2	外食	35.6	-1.4
3	食品	35.4	-2.8
4	旅行	34.0	+0.5
5	書籍・エンタメ	28.0	+2.3
6	家電・AV	25.9	+4.0
7	飲料	25.1	±0
8	レジャー	24.5	+3.8
9	理美容	23.0	+2.0
10	化粧品	21.4	-0.8
11	パソコン・タブレット・周辺機器	18.5	+5.1
12	日用品	17.7	-1.8
13	装飾品	15.8	-4.9
14	インテリア用品	13.5	-3.7
15	スマートフォン・携帯電話	9.2	-1.6
16	車・バイク	7.4	-0.8

順位	カテゴリー	3月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	37.0	-1.7
2	家電・AV	35.4	+6.7
3	旅行	33.7	-3.0
4	食品	32.0	+2.0
5	外食	30.9	-3.8
6	パソコン・タブレット・周辺機器	29.3	+7.3
7	書籍・エンタメ	27.6	-1.7
8	飲料	23.2	-0.1
8	レジャー	23.2	-0.1
10	スマートフォン・携帯電話	14.9	+0.2
11	装飾品	12.2	-10.5
11	インテリア用品	12.2	-1.1
13	車・バイク	11.6	-1.7
14	日用品	10.5	-2.2
15	理美容	9.9	-6.8
16	化粧品	6.1	-0.6

順位	カテゴリー	3月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	64.6	+5.0
2	外食	39.9	+1.0
3	食品	38.4	-6.2
4	化粧品	35.4	+1.2
5	理美容	34.8	+10.4
6	旅行	34.3	+3.2
7	書籍・エンタメ	28.3	+5.5
8	飲料	26.8	+0.4
9	レジャー	25.8	+7.1
10	日用品	24.2	-0.7
11	装飾品	19.2	±0
12	家電・AV	17.2	+0.6
13	インテリア用品	14.6	-5.6
14	パソコン・タブレット・周辺機器	8.6	+1.9
15	スマートフォン・携帯電話	4.0	-3.8
16	車・バイク	3.5	-0.6

■ : 前月比で3ポイント以上の上昇

■ : 前月比で3ポイント以上の下降

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(3月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(3月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	158	185	136	155	756
女性	116	154	179	134	161	744
合計	238	312	364	270	316	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2016年2月4日(木)～8日(月)(2012年4月から調査開始/毎月月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。
「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(菅・川谷) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2016-02/>)からダウンロードしていただけます